〈第90号〉　2026年8月28日発行

ふなばし 国際交流協会ニュース

fira.jp

令和８年度第一回総会開催



司会の総会開始案内を聞く、副市長の林康夫様と協会役員

令和８年５月１３日に、船橋商工会議所にて令和８年度船橋市国際交流協会第１回総会が出席者29名で開催されました。

はじめに嘉規洋会長より、昨年度の主なイベントについてご報告がありました。コロナ禍で中断していた高校生の留学生派遣が再開されたこと、雨の中でしたが、アンデルセン公園でインターナショナルフェスティバルが開催され、約1,000名の来場者があったこと、バス研修には、外国人が27人参加して交流が行われたこと、国際理解セミナーではスリランカが取り上げられ、多くの人が来場したことなどが報告されました。船橋市の人口65万人のうち、２万７千人が外国人で、昨年より2,500人増加していることから、外国人が１日でも早く市民として溶け込んでいけるよう、協会としても支援していきたいと話されました。

次に、市長に代わり、林康夫副市長が来賓のご挨拶をされました。日頃の日本語教室のボランティアの皆さんへの尽力に御礼、また、留学生派遣で若い人材の育成につながることを願っていること、今年度はヘイワード市との姉妹都市提携40周年記念事業も予定されているためご協力をお願いしますと話されました。最後に、世界平和のために、これからも活発な活動をされますようにと結ばれました。

続いて、片桐卓事務局長より、総会資料の議案について説明があり、各議案が採決の後承認されました。その中で、交流イベントは会員が企画運営するものですから、ホームページに掲載されている「文化交流事業のしおり」をご覧いただき、補助金も出るので活用してくださいと追加説明がありました。

途中、事前質問への回答について、追加質問が行われ、国際理解セミナーでより多くの国を取り上げられるよう回数を増やしてほしい、広報にSNSを使ったらどうかなどの提案も出されました。

最後に、嘉規会長から就任の挨拶、事務局の新しい職員の紹介があり、総会が終了しました。この後希望者による懇親会で、会員同士の交流を深めました。

令和８年度　会長・副会長・部会長等一覧

会長	嘉　規　　洋
副会長／国際化啓発･広報部会長（兼務）	小田原　隆　泰
副会長	田　邉　厚　志
副会長／事務局長（兼務）	片　桐　　卓
交流・相互理解部会長	椎　名　有　香
外国人支援部会長	浦　和　かほる
監事	小　原　　智
監事	相　川　和　永

外国人支援部会を紹介します

協会の外国人支援部会では、６箇所の日本語教室、オンライン日本語教室、日本語ひろば、子ども日本語教室、外国人のための防災訓練、災害時外国人支援サポーター養成講座などを行なっています。今回はその中からいくつかの活動を紹介します。

【中央公民館　日本語教室】

中央公民館の日本語教室は平成４年に船橋市で初めて開設された教室です。現在39名の学習者が在籍し、20名のボランティアが支援しています。授業はクラスが１から８までに分かれていて、学習者のレベルに沿った日本語の指導ができるように設定されています。国籍はさまざまで、全部で10か国から学習者が集まってきています。支援者２名がペアを組み、学習者に寄り添う手厚い指導が特色です。授業が分からない人にはそのそばに入って指導したり、時には学習者同士の母語での会話を活用したりして、理解を深めるようにしています。そんな時は学習者の顔が輝きます。また、学習者の熱心な勉強意欲には、いつも驚かされます。言葉に詰まっても、決してあきらめることなく、頭をかきむしったり胸をたたいたりして答えをしぼりだすこともあり、拍手で喜ぶ瞬間です。これからも、ここでの学びがみなさんの役に立つものであることを願っています。　**（支援者）**



中央公民館が改修中のため勤労市民センターで学習、支援する皆さん

【宮本公民館日本語教室】

■学習者　レ・ティ・リエンさん　（ベトナム）

現在、FIRAの４回目のコースを受けています。ここは私にとって価値のある場所です。カリキュラムはとても体系的です。特に、先生は熱心で、いつもわかりやすい方法で教えてくれます。先生のサポートのおかげで、だんだん日本語で会話ができるようになり、来日１年でＮ３に合格しました。さらに、外国人の友達もできて、日本の生活に早く慣れることができました。

■支援者　藤平賢治さん

退職後の昨年末、「広報ふなばし」で、日本語学習支援者養成講座の募集を見つけて応募したのが、私がボランティアになったきっかけでした。今年３月に養成講座を修了し、５月から宮本教室に参加しました。諸先輩がボードやスケッチブックに描く図は、貼り付け、色分けなど解りやすく、飽きさせない工夫が随所に見られました。自分が担当を持った時には資料作成に反映させたいと思っています。

■支援者I.M.さん

２年ぶりにレベル１を担当しました。まだ、ひらがな、カタカナが、読めないクラスです。一度勉強したけれど自信がなくて、もう一度初めから勉強したいという学習者もいました。理解の速さが異なり、支援するのに大変苦労しました。でも仲間のボランティアと協力しながら、学習者が、飽きずに、楽しく、実用的な日本語を学べるように努めました。私のほうも、異文化交流ができ、楽しく日本語支援をしています。



宮本公民館教室の活動の様子

【日本語ひろば】

「日本語ひろば」は、日本語を勉強して少し話せるようになった外国人が、日本人スタッフとの会話や交流をしながら日本語に自信を持って生活できるようになることを目的として活動している場です。月曜日と木曜日の週２回、スタッフ約２０人で、各曜日参加者対面約５人、オンライン約１０人の世話役を分担して行っています。今回は、参加者の劉娟さんに参加した感想をお聞きしました。

私は2018年、夫の仕事の都合で来日しました。当時は日本語が十分に話せず、日常生活にも苦労していました。そこで、日本語能力試験のN2、そしてN1合格を目標に勉強を始めました。参考書や講座、オンライン教材を活用して学習を続けましたが、特に苦手だったのは聴解でした。そんな時、船橋市国際交流協会の日本語教室や日本語ひろばの存在を知り、参加するようになりました。

日本語ひろばでは、ごみの分別やおすすめの観光地、地域の生活情報など、実生活に役立つ内容を学ぶことができます。最初はほとんど話せませんでしたが、スタッフの温かい励ましのおかげで、少しずつ自信を持って話せるようになりました。また、日本語力の向上だけでなく、世界各国の友人との出会いや、日本社会への理解を深める貴重な機会を与えてくれます。日本語を上達させたい方、友達を作りたい方、日本での生活をより充実させたい方は、ぜひ日本語ひろばに参加してみてください。きっと素晴らしい学びと出会いが待っています。We are one team ！

（参加者　劉　娟）



昨年浴衣を着る会に参加しました

【災害時外国人支援サポーター養成講座】

2026年５月１６日（土）に船橋市役所において（一社）国際多文化研修ラボ代表理事の松本義弘氏を講師に迎え、「令和８年度災害時外国人支援サポーター養成講座」が行われました。サポーターは船橋市で大規模災害が起きた時に、外国人に「母語」や「やさしい日本語」を使って、市の通知などの翻訳や通訳、相談を受けるなどの支援を行うグループで、現在83名が登録しています。一般的には「災害時外国人サポーター」と呼んでいますが船橋市ではサポーターからの提案により「災害時外国人支援サポーター」と呼ぶようにしました。外国人を支援するサポーターという事を明確にする為に変更したものです。今日の研修では、外国人が直面する課題とボランティアに求められる役割について教えていただきました。「やさしい日本語」の使い方、それを使うためのアプリなどのツールについて説明がありました。その後で、市から発信される２種類の通達を、各グループで外国人に伝わるよう、難しい表現をやさしく変更したポスターを作成し、発表するワークショップを行いました。２つの通知のうち、どちらを先に取り掛かるかも課題でした。優先すべきは「命に係わる事から」と学びました。皆さんにもぜひこの研修に参加して、サポーターとして登録していただきたいと思います。

（事務局長　片桐　卓）



ワークショップでポスターを作る受講者

実践ミニ英語講座が開催されました

国際化啓発・広報部会では、英語、中国語、ベトナム語の講座を、１講座10回で年２講座ずつ開催しています。協会サロンで定員７名の少人数で行う講座です。講師と受講者が身近に接し、外国理解へのきっかけになればと行われています。今回は、英語講座を訪問し、受講者の皆さんからお話を伺いました。

この講座を選んだ理由は、英語だけの授業でできるだけたくさん話したかった、日本語を一生懸命学ぶ外国人を見て、自分も英語を学んでみようと思った、会話をたくさんしてみたかった、仕事で使うので少しでも慣れたかったなどが挙げられました。

受講してよかった点は、先生がうまく会話を引き出してくれて、自分のことを話すことができた、受講者が好奇心、向上心が旺盛で、英語以外の話題にも及ぶので楽しく、一人一人の良さが出る授業だった、少人数で皆が明るく、先生も時々日本語を交えて説明してくれて、安心して参加できた、などでした。

講師のラシッド・リジャさんは、パキスタン出身のアメリカ育ちです。日頃子どもに英語を教えることはあったが、大人に教えるのは初めてで緊張した、受講生の個性が快適な環境を作ってくれて、毎回前日までの仕事の疲れを吹き飛ばして元気になり、楽しむことができた、14年間日本にいるがFIRAの事業を通じて、日本に初めて役立つことができて嬉しいと言っていました。

（運営担当　K .U.）



明るい講師と受講者のみなさん



趣味の裁縫の作品を
見せながら発表



わからないところを個別に
指導するラシッド先生

お　知　ら　せ

「インターナショナルフェスティバル2026」のボランティアを募集します。

日時：令和８年10月25日（日）10時から午後３時　　**場所**：アンデルセン公園（無料開放日）

今年は船橋市ヘイワード市姉妹都市提携40周年記念行事と同時開催します。記念行事にちなんだステージや、模擬店、フリーマーケット、スタンプラリーなどを行います。

後日メールマガジン、ホームページなどでボランティアを募集します。

外国語講座（対面）受講者募集中です

（１）各講座10回 定員各講座７名
- 英語講座 初・中級（日曜日10：00－11：30）
- 中国語講座 入門（木曜日10：00－11：30）
- ベトナム語講座 入門（土曜日 10：00－11：30）

（２）募集期間：８月10日～９月９日

（３）場所：協会サロン（南本町３－９）

申し込みサイト

交流事業を企画してみませんか

協会では会員の皆さんの企画した交流行事に補助金を出す制度があります。
日本人と外国人が交流する場を企画してみませんか。

文化交流事業のしおり

〈発行〉船橋市国際交流協会　〈事務局〉船橋市役所国際交流課内　〒273-8501　船橋市湊町２－10－25
TEL 047－436－2083　FAX 047－436－2089　ホームページアドレス https://www.fira.jp/